



# 翔アップ

— 主な記事 —

- 新春メッセージ…… 2P
- 第二次中期計画…… 2P
- 役員・事務局職員紹介…… 3~4P
- 年男・年女…… 4P
- 就業レポート(除草剪定)…… 5P
- 2014年の活動…… 6~7P
- シルバーフェア…… 8P

第64号

2015 正月

平成27年1月15日発行

発行/公益社団法人 西宮市シルバー人材センター 〒662-0862 西宮市青木町2-5  
 TEL:0798-72-3461 FAX:0798-72-3542 <http://www.nishisilver.com> 編集/広報フェア委員会



▲門戸厄神 撮影者:見上 力(浜脇)

## 門戸厄神縁起

高野山眞言宗別格本山で、正式名は「松泰山東光寺」。厄除開運の厄神明王が祀られています。嵯峨天皇が四十一歳の御厄年の時、愛染明王と不動明王が一体となり、あらゆる災厄を打ち払い、魔を退治する力を夢の中で感じられました。

その夢の話聞いた弘法大師は自ら愛染明王と不動明王が一体となった明王像を三体、白檀木に刻んで祀られました。そのうち一体が東光寺に伝わる厄神明王です。



## 新年「乙未」は

じゅくりに変革に取り組む年!

二〇一五年は千支で言うところ、「乙未(きのとひつじ)」にあたります。十干の「乙」は、いかに抵抗が強くても、それに屈せず柔軟かつ雄々しく進んでゆくことを意味し、十二支の「未」は繁茂した枝葉末節を払い落として、進むべき道を見失わず新たな活力を育てるということの意味するそうです。

この二つが合わさった「乙未」の年は、まさに変革に向けて粘り強く果敢に取組むことが求められていると言えます。くしくも私達のセンターも変革に向けて歩みはじめています。



# 福祉の受け手から社会の担い手へ

理事長 名和 康正

明けまして

おめでとつございませう。

会員の皆さまには、お健やかに新たな年を迎えられたことと存じます。



昨年は当センターも20周年の節目の年を迎え、本年は新たな飛躍へ向けての第一歩となる重要な年であります。その体制作りの為に、センター運営の要となる組織や財務の検討を鋭意進めております。

今や「人生100年代」の到来も言われ始めており、事実100歳以上のお年寄りが全国で5万9千人にも上る超高齢社会が到来しております。また、平均寿命も男女共に80歳を超えて世界でトップクラスとなっております。

しかしながら、日常的に介護を必要としない自立した生活が出来る生存期間である、健康寿命は男女共に平均寿命を10歳前後下回っています。言い換えれば、最後の10年間ほどは多くの高齢者が何らかの形で介護を必要とする生活を強いられることとなります。人生を最後まで元気で全うしたいと思うのは誰しも同じことでしょう。

高齢者が社会参加することで要介護になるリスクが低くなるという研究成果が発表されてい

ます。要介護になるリスクは、社会活動に何も参加していない人に比べ、趣味や運動、市民活動等、どれか1種類に参加している人は17%、3種類以上は43%も低くなっているということです。

シルバー人材センターの会員の皆さんは、地域社会に密着した仕事を通じて、社会参加をし、地域社会の活性化に貢献することで、元気で生き生きと生活しています。

高齢者の医療費や介護等の社会保障は、行政の大きな負担になっておりますが、シルバー会員だけを捉えれば一人当たり6万円もの負担の軽減になっていくのです。全国の会員数で換算すれば医療費で年間約四八七億円、介護費用は年間37億円もの削減に貢献しています。

私もシルバー会員は高齢者の一員として、「福祉の受け手から社会の担い手へ」の気概で、これからも地域に密着した仕事を通じて、元気で生き生きと生活して健康寿命を延ばしていきたいと思っております。

会員の皆さまの本年のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



## 第2次中期計画の推進にあたって

今年度から新たに第2次中期計画がスタート。センターが持続的に発展していくためには、会員を増やし、会員に就業機会を提供できる仕事を開拓し、一人でも多くの会員に仕事についていただくため就業率を高めていくことが必要です。

そこで、今回の中期計画では、次の基本目標を定めました。

- 一、会員数2,750人
- 二、就業率80.0%
- 三、契約高6億円

※いずれも最終年度の平成30年度末の数値

さらに、センターの健全な発展と会員の生きがいの充実に推進するために次の5つの基本方針を掲げています。

- 一、会員の拡充と確保
- 二、就業先の拡大
- 三、安全就業の推進と健康維持
- 四、社会貢献活動の推進
- 五、組織活動の強化

計画の達成と基本方針の推進は、理事を先頭とした委員会と全会員が一体となって取り組んでこそ初めて可能となります。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

会員の皆さまには今後、計画の進捗状況を機会をとらえて報告させていただきます。また、皆さまからの建設的なご提案も賜りたいと存じます。よろしくお問い合わせ申し上げます。

### 組織検討会議から

#### 機能的、効率的な組織体制をめざす

第2次中期計画に掲げる5つの基本方針の実現に向け、昨年四月、「組織検討会議」を設置し、委員会委員や地区リーダーの皆さまのご意見を聞きながら検討を重ねてきました。

当センターは数年来、一般家庭部門が好調な半面、公共事業・民間事業共に事業高が伸び悩み、会員の高齢化が進むなど厳しい状況にあり、新たな対応に迫られています。

組織の見直しと補強に当たっての重要なテーマは、事業高を増やし、会員が誇りを持って頑張れる環境を整えること、公益社団法人に相応しい活動を進めることに尽きます。

会員一人ひとりの英知と力を仕事や組織運営に活かす、真の自主・自立、共働・共助を実現する仕組みづくりに取り組んでいます。

## 平成26年度 理事・監事の紹介

ご意見・ご要望をお聞かせください。

理事長	名和康正(鳴尾地区)
常務理事	中条正英(西宮市OB)
理事	河野博嗣(夙川) 適正就業委員会 委員長
	赤松慶三郎(中央) 互助委員会 委員長
	工藤邦宏(浜脇) 安全委員会 委員長
	坂口 彰(津門今津) 互助委員会 副委員長
	山上 忍(鳴尾南) 適正就業委員会 副委員長
	水谷 清(瓦木) 就業開拓委員会 副委員長
	吉田通弘(甲東) 就業開拓委員会 委員長
	山本敏雄(塩瀬・山口) 安全委員会 副委員長
	陶木重明(西宮市社会福祉協議会)
	岩崎敏雄(西宮市)
	野島比佐夫(西宮商工会議所)
監事	猪俣 衛(浜脇)
監事	村西 進(公認会計士)



山上 忍      坂口 彰      工藤邦宏      赤松慶三郎      河野博嗣      中条正英  
野島比佐夫      岩崎敏雄      陶木重明      山本敏雄      吉田通弘      水谷 清

## センター事務局のスタッフ紹介



よろしくお願ひします。

お気軽に声をかけてください。

氏名	役職	趣味	モットー	氏名	役職	趣味	モットー
中条 正英	常務理事兼事務局長	自然散策	日々感謝	佐藤 角夫	事業課員	サイクリング	1人でも多くの会員にお仕事を
寿美谷政克	総務課長	推理小説	仕事は適切に	新井本哲夫	事業課員	トレッキング	準備万端 用意周到段取りは命
大森 綾子	総務課員	洗濯	その日のことはその日のうちに	斉藤 義昭	事業課員	ゴルフ	
大竹 和江	総務課員	ソーイング		前田 佳秀	事業課員	スキューバダイビング・ゴルフ	誠心誠意
嶽 進志	事業課主査	ドライブ	一期一会を大切に	澤 高博	事業課員	水彩画	忠如
出口 葉子	事業課員	熱帯魚飼育	健康第一	山口 宏	事業課員	散歩	
木寅 克也	事業課員	読書	生活は規則正しく、お酒はゆとりに楽しむ毎日少しづつ	加藤 次郎	事業課員	旅行	正直一路

中条 正英 新井本哲夫 佐藤 角夫 出口 葉子 山口 宏 斉藤 義昭 嶽 進志 澤 高博

加藤 次郎

大森 綾子

大竹 和江

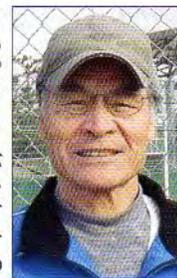
前田 佳秀

木寅 克也

寿美谷政克

## 71歳は若手？

辰巳幸治



「年男のメッセージを」と年末にセンターの中条さん(事務局)から声を掛けられた。この年になって誕生日、正月、ましてや干支を喜んではいられない。ところが、今年66歳の後輩がA市にいるのだが、昨年65歳で退職。この秋、そろそろ遊ぶのにも飽きたそう、シルバーセンターを訪ねた所「シルバーは70からですよ」と職員に云われ、若いからとハローワークを紹介された。聞かされた。と言うことは71歳は、シルバーでは若手？ A市に引越しようかな。みなさん。本年もよろしくお願ひ致します。

## 出会は私の宝物 川浪みゆき



「元氣？」友からの一声。「元氣よ」。思わず顔がほころぶ。信じた、いや、年女なんて。「いやよ、いやいや」。思えば舞台に魅せられドキドキして過ごした30年。家族の応援に感謝です。今ではシルバー人材センターの仲間入りをし、沢山の出会いを通じて、前向きで元氣な皆さんに励まされながらフェアの手伝いを楽しみ、広報紙配布で「いつもご苦労さま」の一言に胸を熱くしながら足腰をさする私です。寒々しいニュースが報道される今日ですが、70の手習いで素敵な講座にチャレンジできる幸せをかみしめながら、また新しい素晴らしい出会いを求めて一喜一憂する毎日です。



## 身も心も若返る仕事です

当センターには3班の剪定チームがあり、加えて女性会員を中心とした除草班が活躍中です。夏は暑さと各種の虫たちに悩まされ、冬は凍える手足をケアしながらの作業となります。想像を超えたパワフルな仕事に驚かされます。「この仕事を始めて以前よりも健康になり、手順を考える習慣が付き、身も心も若返りました」との声も…。お客様から感謝されることによる働きがい・達成感は毎日の生活にも張りをもたらせているようです。

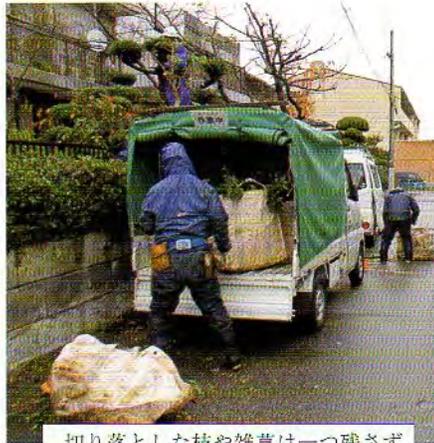


徒長枝・からみ枝・ひこばえなど、樹の成長と整枝を考慮して剪定。

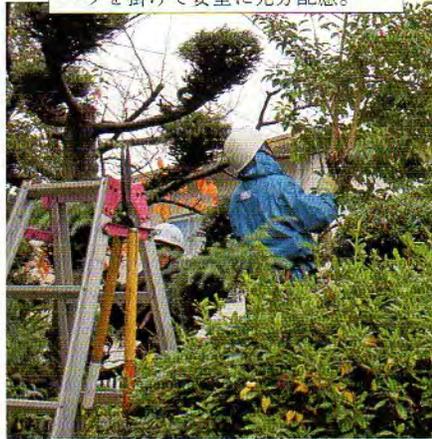
庭木の枝ぶりを慎重に見極めて剪定作業開始。



脚立に上った作業は、ライフロープを掛けて安全に充分配慮。



切り落とした枝や雑草は一つ残さず回収し、ゴミ焼却場へ搬送。



### 就業者の声

シルバーに来て良かった！

青木剛司

私は除草・剪定班に就業して丸二年になりますが、仲間の先輩たちの元気の良さに驚かされています。私より年上の方が殆どですが、冬の厳しい寒さの中、夏の猛暑に耐えて屋外で作業される様子に丹波篠山出身で体力に自信のある私でさえ圧倒されそうです。

市役所の公園緑地課一筋で四十余年も過ごした数少ない経験を持つ職員の一でありましたが、設計施工・管理監督が主な仕事で剪定等の実務は、実家の庭の手入れや農作業の手伝い程度の経験しかありません。それだけに良き先輩から多くのこと（技術面だけでなく、これからの人生の在り方、生き方まで）を学んでおります。

また、お客様からいただく「きれいになった、スッキリした、うれしい、ありがとう」の言葉で疲れが吹っ飛び、私の方も気持ちが良いくなって、また頑張れます。

シルバーに来て良かった！こんな働きがい・生きがいをずっと維持していきたいと思っています。

# 2014 Memories of our Center



定時総会

## 総会・理事会・リーダー会議

4月 23日	平成26年度 第1回理事会
5月 9日	平成26年度 第2回理事会
5月 29日	平成26年度 定時総会
5月 29日	平成26年度 第3回理事会
7月 14日	地区リーダー・サブリーダー会議
7月 31日	平成26年度 第4回理事会
9月 29日	地区リーダー・サブリーダー会議
10月30日	平成26年度 第5回理事会
12月11日	地区リーダー・サブリーダー会議



広田山荘 市民大茶会

## 地域貢献イベント

4月 6日	西宮さくら祭りに参加
4月8~12日	広田山荘 カフェ・ド・ヒロタ
4月 13日	広田山荘 市民大茶会
6月 17日	広田山荘 ぴよぴよサロン
8月 3日	夏休みこども工作教室
9月 8日	広田山荘 観月会
10月25日	にしのみや市民祭りに参加
10月25~26日	兵シ協シルバーフェスティバル
10月28~2日	写真・書道・絵画同好会展示会
11月 1日	いきいきシルバーフェア
11月20日	広田山荘 ぴよぴよサロン
12月 6日	広田山荘 こども将棋大会



ぴよぴよサロン



夏休みこども工作教室



広田山荘 こども将棋大会



広田山荘 観月会



にしのみや市民祭りで  
手作り作品を展示販売

# 2014年(4月~12月)の主な活動

## 清掃ボランティア

4月 6日	浜脇地区・夙川
4月 21日	中央地区・広田神社
6月 14日	甲東地区・武庫川
10月18日	合同清掃・山手幹線/甲子園浜
12月 6日	合同清掃・有馬川



清掃ボランティア



毛筆筆耕講習会



救命講習会



自転車安全運転講習会

## 講習会・研修

8月 5日	毛筆筆耕フォローアップ講習会
8月 19日	毛筆筆耕フォローアップ講習会
9月 3日	救命講習会 (津門・今津地区)
9月 12日	救命講習会 (中央地区)
9月16~19日	兵シ協高齢者生活サポート研修会
9月 25日	交通安全講習会
9月 26日	救命講習会 (鳴尾地区)
10月 2日	救命講習会 (浜脇地区)
10月10日	救命講習会 (鳴尾南地区)
10月14~15日	毛筆筆耕講習会
10月16日	救命講習会 (夙川地区)
11月17日	救命講習会 (塩瀬・山口地区)
11月18日	研修バスツアー
11月25日	交通安全講習会
12月 2日	自転車安全運転講習会
12月 4日	阪神ブロック役職員視察研修
12月16日	救命講習会 (センター)



研修バスツアー



# 第12回 いきいき シルバーフェア

11月1日午前10時～午後3時 西宮中央運動公園・市民運動場

当日は早朝から小雨が断続的に降り、会場の地面に水溜りができる始末でした。しかし、スタッフが砂を入れたり、マットを敷いたりして懸命の対応。開場後は雨脚もとまり始め、なんとかお客様をお迎えすることができました。雨天決行ながら、ご来場客数は600名近くに及び、地域に根ざすシルバーフェアの手応えを実感しました。



▲会場のめかると格闘するスタッフと職員

各地から仕入れた新鮮野菜。▶見る間に行列が…



▲パパの威信にかけてコマ回しに挑戦。



▲会員が丹精込めて栽培した鉢物に熱視線。



▲お馴染みリフォーム作品の展示販売。心のこもった作品はブライスレス！



▲こども工作教室。自分でつくった玩具は夢が広がるよ。



▲売り切れ御免！ いつも人気の焼きそば・フランクフルト・焼き芋・栗。



▲神戸女学院茶道部のお嬢さんによるお茶席。けっこうなお点前デス♥

## 編集後記

「去年(こそ)今年貫く棒のごときもの」。高浜虚子の俳句で、老境の身ながら新年を迎えた感慨を詠んだものと言われています。誰の心の中にも、去年から新しい年へといまも変わらずひとすじに貫くものがあるはず。あなたにとって、それは何でしょう。(F)